目　　次

１　「認知症メモリーウオーク・千葉」ってなに？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２　「認知症メモリーウオーク・千葉」の実績

・２００６年　～千葉県認知症対策研究会の発足～・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

・２００７　～日本初の「認知症メモリーウオーク・千葉」の開催～・・・・・・・・３

・２００８　～広げよう！「認知症メモリーウオーク・千葉」の開催～　・・・・・４

・２００９　～つなげよう！「認知症メモリーウオーク・千葉」の開催～・・・・・５

・２００９年　各開催地域の取組み内容

(１)「第３回認知症メモリーウオーク・千葉」は趣向を変えてみました！　・・・・８

(２)「認知症メモリーウオーク・千葉 in 市原」は手作りのシュシュを皆さんに！・11

(３)「認知症メモリーウオーク・千葉 in 銚子」は観光客にも PR！・・・・・・・・12

(４)「認知症メモリーウオーク・千葉 in 香取」は江戸情緒あふれる風景！・・・・13

(５)「認知症メモリーウオーク・千葉 in 鴨川」は最高のロケーション！・・・・・13

・後援・協賛等について・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

・第３回認知症メモリーウオーク・千葉実行委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・17

・認知症メモリーウオーク・千葉 in 市原実行委員会委員名簿　・・・・・・・・・・・18

・認知症メモリーウオーク・千葉 in 銚子実行委員会委員名簿　・・・・・・・・・・・19

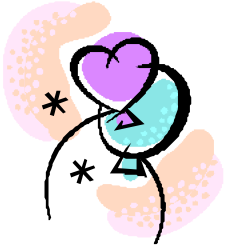
・認知症メモリーウオーク・千葉 in 香取実行委員会委員名簿　・・・・・・・・・・・21

・認知症メモリーウオーク・千葉 in 鴨川実行委員会委員名簿　・・・・・・・・・・・22

３．認知症メモリーウオーク・千葉の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

４．「認知症メモリーウオーク・千葉」を終えて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

「認知症メモリーウオーク・千葉」ってなに？



認知症になっても住み慣れた千葉県内の安心して暮らし続けられる地域を目指し、認知症に対する偏見を取り払い、理解を深めるため、啓発活動を実施することを目的とします。

世界７７カ国で加盟しています「国際アルツハイマー病協会」は、ＷＨＯで加盟を公認された９月２１日を記念して、この日を「世界アルツハイマーデー」と宣言しました。アルツハイマーデーには、認知症の人を介護している家族団体などが、世界中でアルツハイマー病の理解と啓発を目的に様々な活動をおこなっています。

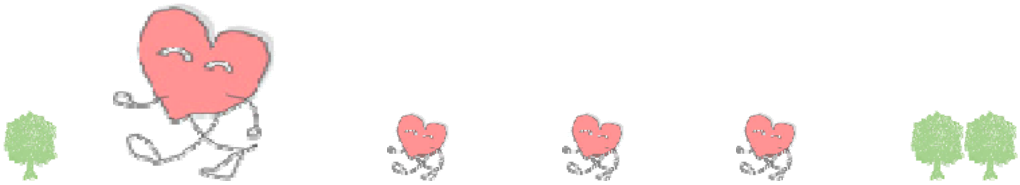
その活動の１つとして、この日を中心に、アルツハイマー病に対する社会への啓発やチャリティなどを目的に、フーセンなどを持ちながら歩く街頭啓発活動、「メモリーウオーク」が世界各国で盛んに行われています。しかし、日本では今まで一度も行われたことがありませんでした。

認知症の理解が地域に行き渡り、偏見などがなくなれば、認知症になっても住みなれた自分の町で暮らし続けられます。また、閉じこもりがちな認知症の人と家族の心を開くことにもなります。そのキッカケの１つとして、日本で行われたことのない「メモリーウオーク」を、この千葉から発信して、多くの人に認知症について関心を持ってもらいたいと、２００６年、「千葉県認知症対策研究会」から声が上がりました。

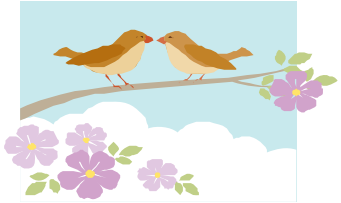
日本初の「メモリーウオーク」は「認知症メモリーウオーク・千葉」という名に決定し、「認知症でも今までどおり住みなれた千葉で暮らしたい」というみんなの思いをのせて、認知症の人も、支える人も、大人も、子供も、様々な立場の、そして世代の人が一緒に参加してもらえる「メモリーウオーク」を目指し、２００７年に無事開催できました。

そして、２００８年は３地域、２００９年は、５地域と開催地が拡大し、地域性を活かしたメモリーウオークが開催されました。それぞれの開催地の実行委員の皆さんは、自分たちの地域のメモリーウオークを良いものにするために、本当に一生懸命頑張りました。そして、素晴らしいメモリーウオークを行うことができました。

（下の絵のハート型の子たちは、認知症メモリーウオークのキャラクター「はーとくん」です。）



「認知症メモリーウオーク・千葉」の実績



【２００６年～千葉県認知症対策研究会の発足～】

千葉県認知症対策研究会は、平成 18 年 7 月 14 日に設立されました。この研究会は、認知症の介護家族、ケアマネジャーや社会福祉士などの介護従事者、医師や看護士等、高齢者に携わっている様々な職種の人がボランティアで集まり、介護現場の実情を踏まえた意見を出し合いながら、千葉県の高齢者保健福祉計画の施策に提案し、その具体化を検討する組織です。

介護や医療の各方面からの視点で検討した結果、6 つの項目を基本とする 6 本の柱として考え、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指しました。

その柱のひとつに、「認知症の正しい理解と普及」を上げました。そして、地域住民への認知症の理解をしてもらうために、何をすれば良いのかを、さらに検討しました。

その結果、より多くの人に認知症に対する理解を求めるためにも、「認知症でも今までどおり住みなれた千葉で暮らしたい」という気持ちをこめて、日本初の「認知症メモリーウオーク・千葉」を開催することにしました。

認知症になっても安心して暮らせる地域づくり（6 本の柱）

①正しい理解と普及・・・認知症メモリーウオークの開催、啓発用ＤＶＤの作成等
②認知症予防・・・認知症予防の普及啓発等
③早期発見・早期対応・・・認知症健診制度の実施、地域医療体制の充実等
④相談体制の整備・・・相談窓口の周知と連携等
⑤権利擁護体制の充実・・・成年後見制度の周知・活用等
⑥人材育成・・・研修以外の人材育成等

【２００７年～日本初の「認知症メモリーウオーク・千葉」の開催～】

日本初の「認知症メモリーウオーク・千葉」が開催されました。多くの県民と、認知症の人とその家族と共に、また、千葉県老人クラブ連合会の方にもたくさん参加していただき、大いに盛り上がりました。

（1）日　　時　　平成 19 年 9 月 16 日（日）　受　付　9:30 ～
　　開　会　10:00　　出　発　10:30 ～ 12:00　解散
（2）コ　ー　ス　　県庁～中央公園～JR 千葉駅手前
（3）参　加　者　　５２０人

【２００８年～広げよう!「認知症メモリーウオーク・千葉」の開催～】

平成 20 年度の「認知症メモリーウオーク・千葉」は、「広げよう！」をメインテーマとし、広域型と地域型に分けて県内３か所で開催しました。広域型は千葉市で平成１９年度同様に千葉県全域から参加者を募り大規模なパレードを 10 月 13 日に実施し、地域型については、地域のカラーを活かしたパレードを、香取市で 10 月 19 日、佐倉市で 11 月 29 日に実施しました。３か所合計で７２９名と、大勢の人に参加していただきました。

１．「第 2 回認知症メモリーウオーク・千葉」の開催
（１）日　時：平成 20 年 10 月 13 日（月・祝日）　受　付　9:30 ～
　　開　会　10:00　　出　発　10:30 ～ 12:00　解散
（２）コース：県庁～中央公園前～県庁
（３）参加者：４０８人
（４）主　催：第 2 回認知症メモリーウオーク・千葉実行委員会
　　（構成団体：第 1 回認知症メモリーウオーク・千葉実行委員会、千葉県、千葉市、目的に賛同する者及び団体等）

２．「認知症メモリーウオーク・千葉 in 香取」の開催
（１）日　時：平成 20 年 10 月 19 日（日）　受　付　9:30 ～
　　開　会　10:00　　出　発　10:30 ～ 12:00　解散
（２）コース：佐原文化会館前～小野川沿い～JR 佐原駅前～佐原文化会館前
（３）参加者：１４５人
（４）主　催：認知症メモリーウオーク・千葉 in 香取実行委員会
　　（構成団体：目的に賛同する者及び団体等、千葉県、香取市）

３．「認知症メモリーウオーク・千葉 in 佐倉」の開催
（１）日　時：平成 20 年 11 月 29 日（土）　受　付　12:00 ～
　　開　会　12:45　　出　発　13:00 ～ 13:30　解散
（２）コース：京成ユーカリが丘駅（よろこび広場）～ユーカリが丘南公園
（３）参加者：１７６人
（４）主　催：認知症メモリーウオーク・千葉 in 佐倉実行委員会
　　（構成団体：市民代表、千葉県、佐倉市、佐倉市地域介護相談センター）

第２回認知症メモリーウオーク

メモリーウオーク in 香取

メモリーウオーク in 佐倉

【２００９年～つなげよう！認知症メモリーウオーク・千葉！～】

２００７年から始まった認知症メモリーウオーク・千葉ですが、１年目は千葉市で開催されました。２年目は千葉市、香取市、佐倉市の３か所で開催。そして３年目の２００９年。なんと、千葉県内の５か所で開催され、千葉県内一般県民、認知症の人とその家族（介護者）、福祉・医療・保健関係者、施設従事者等の多くの人に参加をしていただきました。

会場は、第３回目の千葉市、今年で２回目の香取市、今年度初の、市原市、銚子市、鴨川市の５箇所です。各実行委員はそれぞれ案を出し、認知症について少しでも関心を持ってもらうためには、どのようにすれば良いのかを検討し、地域の特性を生かしたメモリーウオークを作り上げていきました。参加者も５か所合計すると、１，２８１名と千人を超え、大変嬉しい結果となりました。

各地域で、横断幕を使って、通行の方に認知症をアピールしたり、完歩証（無事メモリーウオークを終了した証（あかし））をご用意し、ゴールした方たちみなさん一人ひとりに手渡したりしました。

ちなみに、完歩証のデザインは、千葉市では緑が大変気持ちの良い公園内で行ったので、小枝に小鳥が休んでいる絵をモチーフとした完歩証、市原市は、市の鳥である「ウグイス」をモチーフにした完歩証、銚子市は漁業の町にちなんで「魚」をモチーフに、香取は、市の花である「アヤメ」をモチーフに、鴨川はサーファーに人気のある前原海岸にちなんで「波とヨット」をモチーフに、それぞれの地域の特色をいかした完歩証を作成しました。皆さん嬉しそうに受け取っていました。

１．「第３回認知症メモリーウオーク・千葉」の開催

（１）日　時：１０月４日（日）１０：３０～

開　会　10:30　　出　発　11:00 ～ 12:30　解散

（２）コース：千葉県立青葉の森公園内（約１．５ｋｍ）

（３）参加者：３４４名

（４）主　催：第３回認知症メモリーウオーク・千葉実行委員会

（構成団体：第２回認知症メモリーウオーク・千葉実行委員会、千葉県、千葉市）

２．「認知症メモリーウオーク・千葉 in 市原」の開催

（１）日　時：１０月１７日（土）１３：３０～

開　会　13:20　　出　発　13:30 ～ 14:00　解散

（２）コース：市原市勤労会館　～　ＪＲ五井駅（約１．５ｋｍ）

（３）参加者：１０４名

（４）主　催：認知症メモリーウオーク・千葉 in 市原実行委員会

（構成団体：市原市認知症介護の会、もの忘れのある方の懇談会、千葉労災病院、千葉県、市原市）

市原市は、千葉労災看護専門学校の生徒さんがボランティアスタッフとして多く参加していただき、若いパワーいっぱいでした。

３．認知症メモリーウオーク・千葉 in 銚子

（１）日　時：１０月１８日（日）１０：００～

開　会　10:00　　出　発　10:30 ～ 12:00　解散

（２）コース：銚子市役所　～　ＪＲ銚子駅　～銚子市役所（約１．５ｋｍ）

（３）参加者：３１５名

（４）主　催：認知症メモリーウオーク・千葉 in 銚子実行委員会

（構成団体：目的に賛同する者及び団体等、千葉県、銚子市）

銚子市長も一緒に参加した銚子のメモリーウオークは、予想以上の多くの参加者が集まりました。スタッフの方々の迅速な対応により、滞りなく無事に終了できました。

４．認知症メモリーウオーク・千葉 in 香取

（１）日　時：１０月３１日（土）１０：２０～

（２）コース：香取市役所　～　小野川沿い　～香取市役所（約２．２ｋｍ）

（３）参加者：２１３名

（４）主　催：認知症メモリーウオーク・千葉 in 香取実行委員会

（構成団体：目的に賛同する者及び団体等、千葉県、香取市）

昨年度よりも５０名以上も多く参加していただいたメモリーウオークは、香取市長も一緒に参加をして、大変盛り上がり、観光名所の小野川沿いをゆっくり歩きました。

５．認知症メモリーウオーク・千葉 in 鴨川

（１）日　時：１１月１５日（日）１０：３０～

（２）コース：フィッシャリーナ　～　鴨川市民会館

（３）参加者：３０５名

（４）主　催：認知症メモリーウオーク・千葉 in 鴨川実行委員会

（構成団体：目的に賛同する者及び団体等、千葉県、鴨川市）

当初の見込みよりも参加者が多くて、嬉しい悲鳴をあげてしまうほどでした。鴨川市長や地元の方が多く応援に駆けつけていただき、とっても大盛況でした。

【２００９年の各地域の取組み内容】

１.「第３回認知症メモリーウオーク・千葉」は趣向を変えてみました！

今回の千葉市で開催いたしました「第３回認知症メモリーウオーク・千葉」は、３回目ということもあり、チョット趣向を変えて、啓発活動としてのパレードだけではなく、認知症の方の社会参加の場でもあるイベントであることから、参加者に、より楽しんでもらおうと、ウオークラリーを兼ねたメモリーウオークを開催しました。

○メダルとシールポイント

今回は参加できなかった施設利用者の方や介護従事者保育園の園児や小学校の児童等が願いをこめて色ぬりをした「メダル」を、参加者の方にお配りしました。コースには５か所のシールポイントを設置し、ポイントを通過する時に、「メダル」に可愛らしいシールを貼ることが出来るように工夫しました。

メダル表面（トンボ）文字と花の色ぬりを皆さんにしていただきました。

メダル表面（お花畑）下の番号で無事に参加者が戻ったのかを確認。

メダル裏面（ウオーク前）５つのポイントを通り、シールを貼っていきます。

メダル裏面（ウオーク後）ポイントを通過したのでシールが貼られています。

○クイズポイント

シールポイントの他に、認知症についての楽しいクイズポイントも設けました。皆さんに認知症についての正しい理解をしていただけるよう、模造紙に「認知症クイズ」を記入し、道の随所に掲示しました。メモリーウオークの参加者だけではなく、道行く人がクイズを覗き込み、認知症について関心を示していました。

クイズポイントには、スタッフが常時待機していて、面白おかしく、問題を回答しやすいよう促し、参加者等を大いに盛り上げていました。また、ゴールには、認知症クイズの解説用紙を配布し、認知症の知識をお土産に持って帰ることができるよう工夫しました。

✪認知症クイズ〈三択〉の問題と回答✪

クイズ１：世界で初めて、アルツハイマー病を報告した医学博士は誰でしょう
①ドイツのアルツハイマー博士
②日本のアルイテミヨウ博士
③千葉の元気モリモリ博士　　答え　①

クイズ２：認知症の予防に良いと言われていることで、まちがっているのはどれ？
①ウオーキングや適度な運動
②栄養バランスの良い食事
③毎日お酒をたくさん飲む　　答え　③

クイズ３：認知症は誰にもなりうる脳の病気です。次のうち正しい理解はどれ？
①認知症になると、何もできなくなる
②認知症になると、話ができなくなる
③その人に合わせた手助けがありば、できることが、いろいろある
答え　③

クイズ４：今や認知症サポーターは全国で、○○万人を超えるまで増えています。正しいのはどれでしょう。
①１万人
②１００万人
③１０００万人　　答え　②

クイズ５：おや？認知症かな？・・・と思った時に、まちがっているのは、どれ？
①医師の診断を受ける
②介護相談に電話してみる
③「歳のせい」だと気にしない　　答え　③

クイズ６：日本の高齢者の認知症で、最も多いとされているタイプはどれでしょう？
①脳血管性
②アルツハイマー型
③レビー小体型　　答え　②

クイズ７：メモリーウオークは世界各国で開催されています。日本で初めて開催したのは、どこでしょう？

①東京都

②千葉県

③沖縄県　　答え　②

クイズ８：市町村には、認知症の相談や介護予防など、高齢者の総合的な相談窓口があります。どれでしょう？

①地域包括支援センター

②地域就★活支援センター

③地域婚❤活支援センター　　答え　①

クイズ９：「認知症という呼び名は、何年前から使われているでしょう？

①今年から

②５年前から

③昔から　　答え　②

クイズ 10：認知症の人と話す時のポイントとして、正しいのはどれでしょう？

①ゆっくりとわかりやすい言葉で話す

②早口で、まくしたてるように話す

③赤ちゃん言葉で話す　　答え　①

クイズ 11：認知症を正しく理解し、地域で認知症の人やその家族の“応援者”となる人たちは、どれでしょう？

①認知症モニター

②認知症サポーター

③認知症ハリーポッター　　答え　②

クイズ 12：認知症サポーターの目印となるリング（ブレスレット）は、何色でしょう？

①あか

②みどり

③オレンジ　　答え　③

○メモリーツリー

今年も、参加者の皆さまの声を新緑の葉に見立てた付箋に書いていただき、模造紙で作った木に張っていただく「メモリーツリー」を行いました。感想には、「楽しく歩くことが出来ました。また参加したいです」　「また来年きたいなぁ」「千葉まできて、みんなで歩き、楽しい半日でした」「認知症のことを色々学べてよかったです。千葉に生まれてよかった！」等、嬉しい声がたくさん寄せられました。

２.「認知症メモリーウオーク・千葉 in 市原」は手作りシュシュを皆さんに！

今年度はじめての開催の市原では、市原市勤労会館から駅前の大通りがコースとなっており、とても広い歩道になっていたおかげで、歩きやすいコースになりました。みなさん、ユッタリとしたパレードを行いました。

○みんなにおそろいのオレンジ色のシュシュ

参加者の皆さんにオレンジ色の何かを身につけていただきたいと思い、手先の器用な実行委員がオレンジ色の「シュシュ」（布の間にゴムひもを通したもの）を作成し、参加者へ配布しました。

○メモリーツリー

市原市の木はイチョウです。そこで、市原市ではイチョウの木をメモリーツリー（カブトムシがいたり、イチョウの木の後で子供たちが遊んでいたりと、とても楽しいメモリーツリーです）にして、黄色とオレンジ色の付箋を一枚、一枚、気持ちをこめて手作業でイチョウの葉っぱに切り、参加者の皆さんにお配りして、感想を書いていただきました。

３.「認知症メモリーウオーク・千葉 in 銚子」観光客にも PR！

ぬれ煎餅や漁港で有名な銚子市で、今年度メモリーウオークを開催しました。当初予定していた参加者をはるかに越えて、大変多くの方々に来ていただけました。観光地としても有名な銚子市は、銚子駅前通りにたくさんのお土産屋さんなどが立ち並んでおり、お店の人も笑顔で応援してくれました。

○みんなにおそろいのオレンジ色のリボン

認知症の啓発活動のといえば、オレンジリングもあるようにオレンジ色です。そこで、皆さんにはオレンジ色のリボンを二つに折り、輪ゴムを通して作成したバンドを腕に巻きつけ、「認知症メモリーウオーク・千葉 in 銚子」に参加していただきました。

○駅前でのチラシ配り

少しでも多くの人に、認知症のことを知ってもらうため、また、高齢者が住みよい町にするため、銚子駅前広場において、地域包括支援センターや認知症に関するチラシを警察と連携を図り、多くの人に配布し、パレードだけではなく、紙面でも啓発活動を行いました。

○メモリーフィッシュ

銚子は漁港が有名。ということで、「メモリーツリー」ではなく、「メモリーフィッシュ」を作成しました。３匹の魚を海に泳がせて、そのうちの１匹は、今回参加できなかった認知症本人の気持ちをうろこに見立てた付箋に記入してもらい、魚に貼りメモリーフィッシュを完成させておきました。
残りの２匹の魚のうろこ（付箋）に参加者の気持ちを記入してもらい、綺麗な３匹を無事完成させました。

４.「認知症メモリーウオーク・千葉 in 香取」は江戸情緒にあふれる風景！

昨年度大盛況に終わった香取市でのメモリーウオーク。今年度も引続き開催しました。場所は昨年度と同様の観光スポットである小野川沿いのコース。昨年度より少しコースが短くなり、皆さん元気に怪我もなく、無事ゴールできました。

○オレンジ色のおそろいのバンダナ

オレンジ色のバンダナを皆さんにお渡しして、首に巻いていただきました。

○認知症啓発資料の配布

認知症及び地域包括支援センターをより効果的に啓発するため、佐原駅前及び忠敬橋付近でパンフレットの配布を行いました。地域住民だけではなく、観光客の方等にも配布することが出来ました。皆さんが少しでも認知症に関心をもっていただければと思っています。

○メモリーツリー

香取では､紅葉したリンゴの木をメモリーツリーとして､リンゴの形をした付箋に感想を書いていただきました｡リンゴの実がたわわに実った豊かなメモリーツリーとなりました。

５.「認知症メモリーウオーク・千葉 in 鴨川」は最高のロケーション！

鴨川では、間寛平さんがアースマラソンで海外へスタートしたフィッシャリーナを今回のメモリーウオークでもスタート地点とし、「日本の渚百選」に選ばれました「前原・横渚海岸」の海岸通りを歩きました。ちょっと風が強かったのですが、最高のロケーションの中、皆さん無事ゴールできました。

○出発前の準備運動

メモリーウオークに参加された方がみなさん無事にゴールできますよう、出発前の準備体操として、認知症予防にも効果があると言われている「フリフリグッパー体操」を軽快なリズムに乗りながら行いました。

○みんなにロバマークの

鴨川市役所の職員さんや参加者の皆さんにお配りしました。可愛いロバさんマークのワッペンをもらった皆さんは大変喜んで、上着等にペタッと貼っていました。

○スタッフ用帽子

遠くからでも、参加者がスタッフを分るようにと、スタッフおそろいの帽子を作成しました。額のところのロゴのデザインから印刷までの工程を、すべて手作りで行いました。

○あったかい豚汁

海岸沿いを歩いた後は、温かい豚汁をご用意しました。具沢山の豚汁はとっても美味しくて、心身ともに温まりました。皆さん嬉しそうに召し上がっていました。

○メモリーウエーブとメモリーボード

皆さんの感想を、サーフィンが盛んな鴨川らしく、「メモリーウエーブ」と「メモリーボード」を用意しました。付箋には、シャチやマグロや鯛などの絵が記入されたメッセージカードになっており、「空と海の色が最高でとてもよかった。外はいいですね」「風が強くて大変だったけど、楽しく歩けました」「母と一緒に参加できて嬉しかった」等たくさんの嬉しいメッセージをいただきました。

○パネル展示

安房しあわせネットワークや鴨川市グループホーム連絡会、鴨川市ケアマネジャー連絡協議会、鴨川市地域包括支援センター等、各関係者が認知症に関するパネルや啓発物資を展示し、認知症の正しい理解を多くの人にアピールしました。展示物はどれも素晴らしい出来上がりで参加された方たちは、大変熱心にご覧になっていました。

【後援、協賛等について】
本当にたくさんの皆様のご協力には感謝感激です!!心からお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

（１）第３回認知症メモリーウオーク・千葉
〇後援団体（順不同）
厚生労働省、認知症介護研究･研修東京センター、千葉市長会、千葉町村会、千葉県医師会、千葉市医師会、千葉県歯科医師会、千葉市歯科医師会、千葉県薬剤師会、千葉市薬剤師会、千葉県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会、千葉県老人ｸﾗﾌﾞ連合会、千葉市老人ｸﾗﾌﾞ連合会、千葉県民生委員児童委員協議会、千葉市民生委員児童委員協議会、千葉県高齢者福祉施設協会、千葉市老人福祉施設協議会、千葉県老人保健施設協議会、千葉県看護協会、千葉県社会福祉士会、千葉県介護福祉士会、千葉県介護支援専門員協議会、千葉市介護支援専門員協議会、千葉県デイサービスセンター協会、千葉県訪問看護ステーション連絡協議会、千葉県ホームヘルパー協議会、千葉県在宅サービス事業者協議会、千葉県地域密着･小規模ケア推進協議会、千葉市認知症高齢者グループホーム連絡会、千葉県地域包括･在宅支援センター協会、朝日新聞千葉総局、毎日新聞千葉支局、読売新聞千葉支局、東京新聞千葉支局、日本経済新聞千葉支局、産経新聞千葉総局、千葉日報社、NHK 千葉放送局、千葉テレビ放送社、認知症の人と家族の会千葉県支部、生活共同組合パルシステム千葉
〇協賛団体（順不同）
パラマウントベッド（株）、ヤンセンファーマ（株）、（株）ツムラ
京葉銀行（株）、（株）エイゼット、（株）ワイズマン千葉支店
（株）タイカ、エーザイ（株）、ヤマシタコーポレーション千葉営業所
〇協力団体（順不同）
トランシーバー協力：（株）NCS
花紙作成協力：グループホームスマイル成田

（２）認知症メモリーウオーク・千葉 in 市原
〇協賛団体
エーザイ（株）
〇協力団体（順不同）
（有）トータルサポートサービス、千葉労災看護専門学校、（有）ほほえみケアセンター、介護サービス友乃家、ヘルスケアライン

（３）認知症メモリーウオーク・千葉 in 銚子
〇協賛団体（順不同）
ヒゲタ醤油（株）、ヤマサ醤油（株）、大丸タクシー（株）、（株）タカサ、大日本住友製薬（株）、アステラス製薬（株）、ファイザー（株）、エーザイ（株）、協和発酵キリン（株）、（株）ツムラ、大塚製薬（株）、田辺三菱製薬（株）
特定非営利活動法人千葉健康生きがい支援ネット

○協力団体（順不同）
広報協力：銚子テレビ放送、大衆日報社、銚子よみうり新聞
メモリーフィッシュ作成協力団体:特別養護老人ホームさざんか園、老人保健施設なぎさ、
グループホーム双葉、グループホームかすが苑、グループホーム銀河、
グループホームふくろう、デイサービスつつじ、デイサービスなごやか、
デイサービスさざんか園、デイサービス小畑さざんか園、デイサービスみき、
デイケア吉野クリニック、訪問看護双葉、小規模多機能ホームかすが苑

（４）認知症メモリーウオーク・千葉 in 香取
○協力団体
（社）香取郡市医師会、（社）香取歯科医師会、香取郡市薬剤師会、香取市民生委員児童委員協議会連合会、香取市高齢者クラブ連合会、香取市行政協力員協議会、香取市地域密着サービス連絡会、香取市ボランティア連絡協議会、香取市社会福祉協議会、香取ネットワーク、佐原商工会議所、香取市商工会、香取広域市町村圏事務組合消防本部、香取市消防団、香取郡市ケアマネジャー連絡会、ケアマネジャー連絡会、香取認知症ケアを考える会

（５）認知症メモリーウオーク・千葉 in 鴨川
○後援団体
房日新聞社、外房新聞社、安房医師会、安房医師会長狭部会、
鴨川市民生委員児童委員協議会、安房しあわせネットワーク、
鴨川市ケアマネジャー連絡協議会、鴨川市グループホーム連絡会、
鴨川市訪問介護事業所連絡協議会、鴨川市通所介護・通所リハビリ事業所連絡協議会、
千葉県中核地域生活支援センターひだまり、鴨川市社会福祉協議会
○協賛団体
大塚製薬（株）、鴨川ロータリークラブ、鴨川ライオンズクラブ、エーザイ（株）、
千葉薬品（ヤックス）、イオンリテール（株）ジャスコ鴨川店